



CDP Climate change

2021日本概要報告



ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社

環境対策部 部長 倉内 瑞樹

January.19.2022

CDP気候変動質問書2021 回答状況

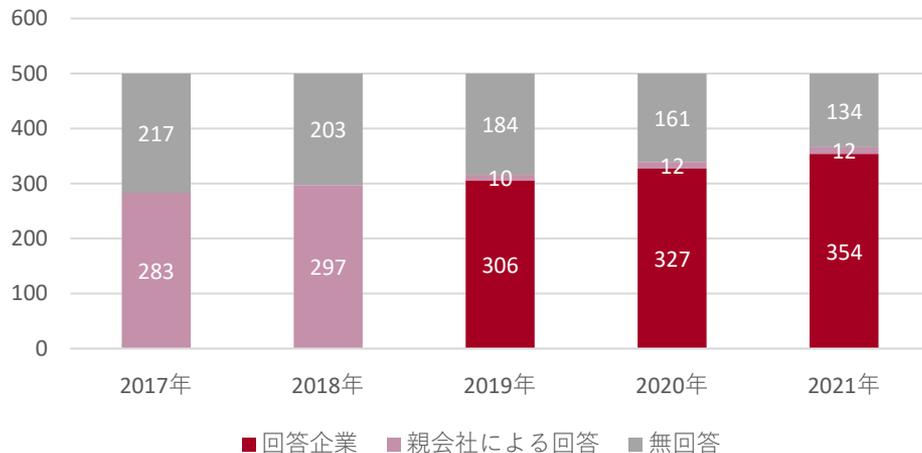
- JAPAN500回答数 : **354社**
- JAPAN500回答率 : **71%** (回答354社/対象500社)
- 全回答日本企業数 (JAPAN500以外を含む) : **427社**

以下を含む

- ・ Not scored (回答期限後に提出)

	回答企業数	回答率	
2015年	246	49%	
2016年	265	53%	
2017年	283	57%	
2018年	297	59%	
2019年	306	61%	※
2020年	327	65%	※
2021年	354	71%	※

ジャパン500回答企業数の推移

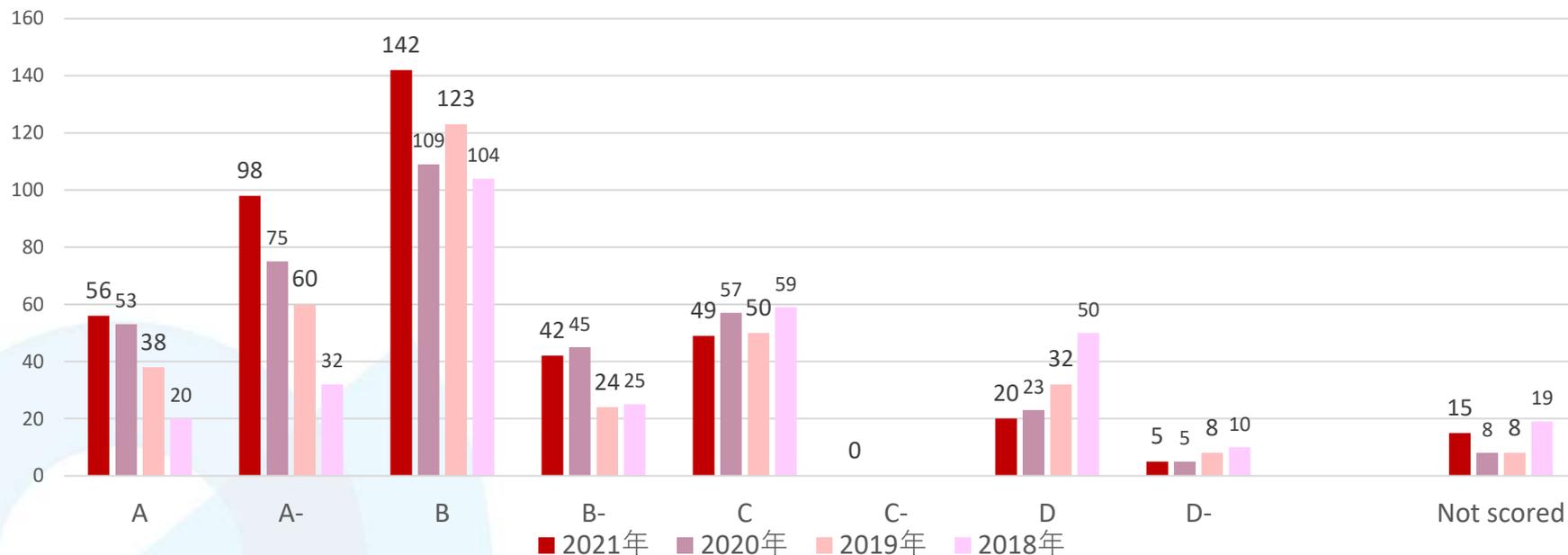


※グローバルの回答率集計方針に合わせて2019年からSAを除いた回答率で集計

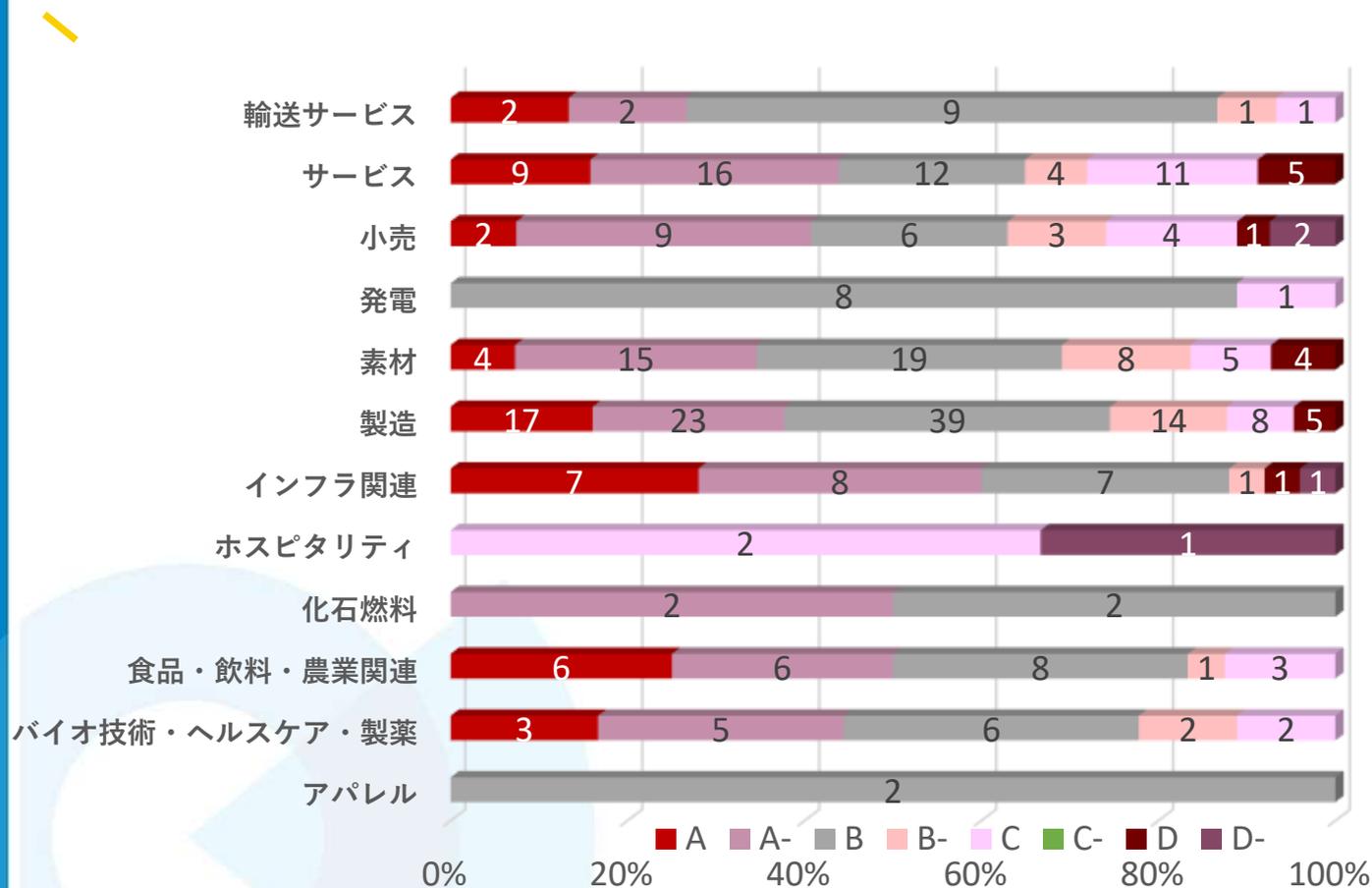
全回答企業スコア分布（427社:2021年 内NOT SCORED15社含む）

2021年 Aリスト企業 56社（JAPAN500 50社、その他 6社）

全回答企業2018年～2021年 スコア分布



セクター別スコア分布 (JAPAN 500 / 回答354社) ※NOT SCORED 9社除く



回答企業	対象企業数	回答率	前年比
15	23	65%	+2
57	108	53%	+5
27	61	44%	+8
9	10	90%	→
55	61	90%	+2
106	126	84%	→
25	34	74%	+10
3	8	38%	+13
4	4	100%	+20
24	31	77%	+3
18	31	58%	-9
2	3	67%	+34

回答分析 C2

(C2.1 b) あなたの組織では、事業に対する財務または戦略面での重大な影響を、どのように定義していますか。

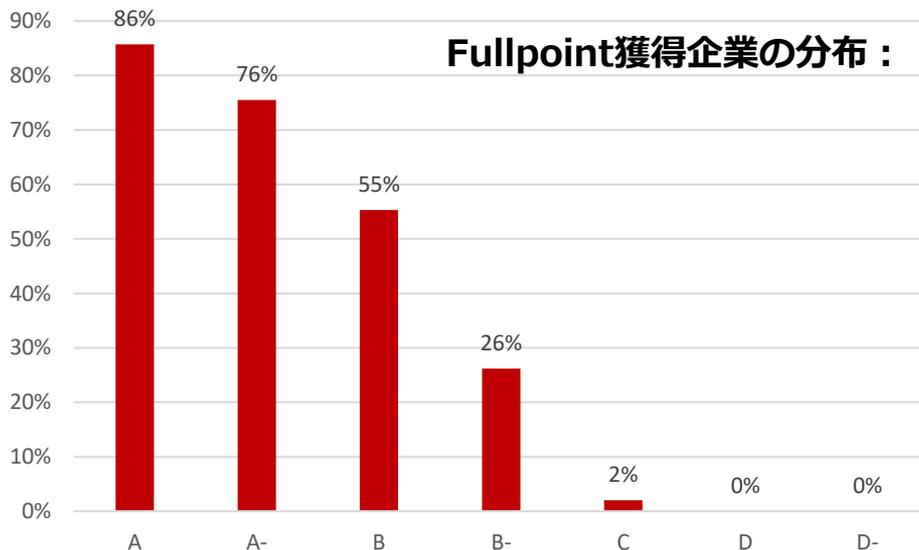
採点基準：

気候関連のリスクを特定または評価する際の「重大な財務的または戦略的影響」の**定義**と重大な財務的または戦略的影響を**定義するために使用される定量化可能な指標**の説明がある場合

(マネジメントポイント+2)

□ リスクの重大性の定義は、財務への影響を図るうえでの基礎であり、Fullpointを獲得するという事は、組織におけるリスクマネジメントプロセスの判断基準が明確に定められていることを示しています。

データユーザーはこの情報からC2.3a、2.4aの詳細情報における組織への影響度を読み取ることができます。



A、A-は75%以上

回答分析 C2

(C2.3 a、C2.4 a)あなたの組織の事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスク、機会を記入してください。

□ リスクと機会の詳細情報に関して fullpointを獲得しているということは、実際にリスクマネジメントプロセスの実装結果から、十分な情報を適切に報告できていることを意味します。

Fullpoint獲得企業の分布：

質問	回答数	M-point fullpoint 獲得回答数	M-point fullpoint 獲得割合
C2.3a	1,470	246	16.7%
C2.4a	1,335	245	18.4%

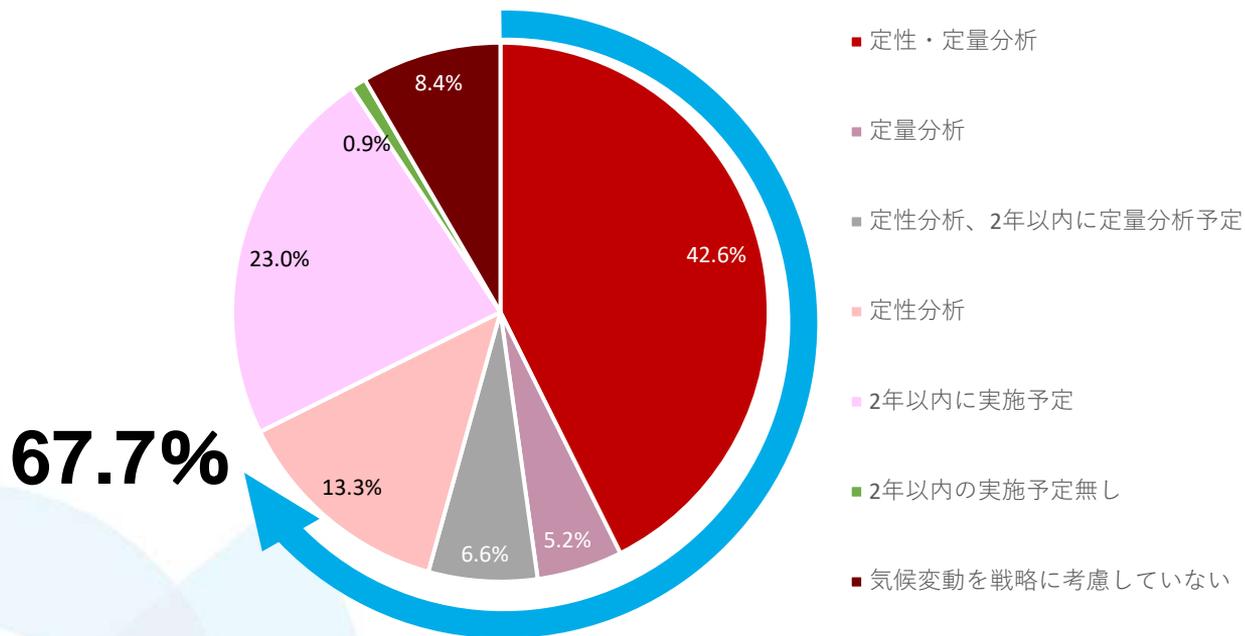
□ 一つ以上のリスクと機会の情報に関して財務影響の数値を報告している企業数は、リスクで80%、機会で77%を超えており、財務影響の程度に関する評価が企業内のリスクと機会の評価プロセスに確実に組み込まれていることがわかります。

財務影響数値回答割合：

質問	回答企業数	財務影響の数値の回答企業数	財務影響数値回答割合
C2.3a	427	343	80.3%
C2.4a	427	331	77.5%

回答分析 C3

シナリオ分析 (C3.1 a) 事業戦略策定に際し、気候関連シナリオ分析を使用していますか



□ 67.7% がシナリオ分析を実施済み。(2020年は63.2%であるので、+4.5%UP)
「2年以内に実施予定」を加えると、90.7% がシナリオ分析の実施に前向きな姿勢を示しています。

ご清聴ありがとうございました



ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社
環境対策部 部長 倉内 瑞樹

- ▶ TEL : 03-3516-2411
- ▶ E-mail : mizuki.kurauchi@socotec.com